2023-2024 年度　ROTARY　CLUB　OF　TOYOKAWA　HOI CLUB　WEEKLY

世界に希望を生み出そう

やらまいか

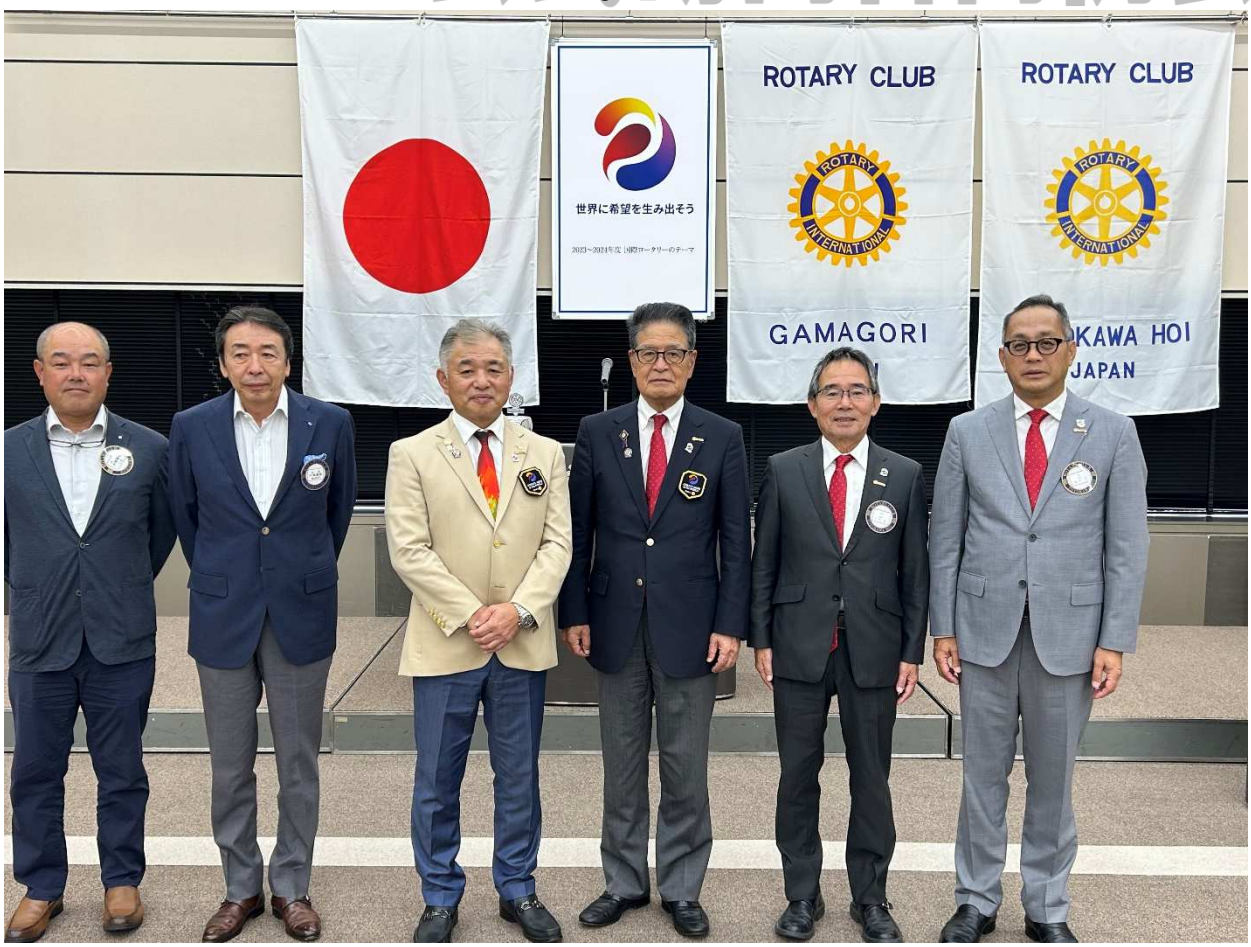
クラブテーマ：スマイルロータリー、新時代へ進化

会長／太田　稔　幹事／池田　弘　会報委員会／乙部享祐・杉浦和人・原田浩史
例会場／毎週火曜日 12：30　豊川商工会議所　　事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内
℡0533-86-2535　Fax0533-86-8889　HP：http://toyokawahoi.tank.jp/

本年度第８回　通算１７２９回 ２０２３年９月１２日（火）	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/29 修正出席率
		７２名	３４名	５５．７％	７６．６％

ゲスト：酒井法丈地区ガバナー、杉浦敏夫地区幹事、磯部晃作地区スタッフ（豊田）
ビジター：（なし）

ガバナー公式訪問合同例会



★歓迎のあいさつ　　太田稔会長

皆さん、こんにちは。酒井ガバナー、杉浦地区幹事、ようこそ豊川にお越し頂きましてありがとうございます。

蒲郡ロータリークラブの皆さん、今日は豊川までお越し頂きありがとうございます。ガバナー公式訪問合同例会は、豊川宝飯と蒲郡が一緒にやることが多いと感じています。昨年は、我々が蒲郡に出掛けました。蒲郡クラシックホテルで開催するということで、美味しいお料理をいつも食べさせて頂いております。

昨日、用事がありまして蒲郡に行きました。昨日は、蒲郡周辺に雨雲があり、ずっと雨が降っていました。今日も蒲郡から渥美半島の方に雨雲があるようです。足元の悪い中、お越し頂きありがとうございます。

蒲郡市もそうだと思いますが、豊川市も 10 月には市長選があります。これから少しバタバタしてくるかなと思っています。

本日は、酒井ガバナーの講話で、国際ロータリーの話、地区の方針などを聞いて、今後のクラブ運営に活かしていきたいと思います。宜しくお願いします。

★幹事報告　　池田弘幹事

9 月 26 日財団補助金事業例会について
秋の行楽の開催について
豊川 JC からのイベント案内について

★ガバナーの紹介　　杉浦敏夫地区幹事

皆さん、こんにちは。本年度 2760 地区の地区幹事をやっています豊田 RC の杉浦敏夫です。ガバナーの紹介をさせて頂きます。公式訪問が 3 分の 1 終わりましたが、初めてガバナー紹介をさせて頂きます。

1957 年 8 月生まれで、現在 66 歳です。明治大学の経済学部を卒業され、1985 年の豊田警備保障㈱に入社され、1998 年から代表取締役をされています。2012 年に合併により、社名が豊田東海警備保障㈱に社名が変更されています。

1998 年に豊田 RC に入会されました．地区役員とクラブ役員を色々経験され、昨年度は豊田 RC の会長とガバナーエレクトを兼任でされておりました。忙しい日々を過ごされ、今年度は昨年以上に忙しい日々を過ごされています。これからも宜しくお願いします。

★ガバナーの講話　　酒井法丈ガバナー

皆さん、こんにちは。本日は、蒲郡 RC と豊川宝飯 RC の例会にお邪魔をして、色々とお話をさせて頂きます。

ガバナー公式訪問の一つの目的は、RI 会長のメッセージを皆さんにお届けするというのが目的です。我々は RI の会員で、RI の動きや方針を理解する責任があります。今年の RI テーマが「「世界に希望を生み出そう」です。

RI 会長は、スコットランド出身のゴードン R. マッキナリーさんです。この方のメッセージを最初に聞いたのは今年の 1 月です。その時になかなか分かりにくいものでしたが、今年の 7 月のメッセージはとても分かりやすかったです。皆さんに紹介をさせて頂きます。

その前に、私の着ているジャケットと派手なネクタイは、日本の 32 地区の同期のガバナーと合わせたガバナーズブレザーです。公式の場で着用しようということになっています。ネクタイは、国際協議会に行った時に財団への寄付をした人に贈られるネクタイです。地区幹事や会長、幹事がされている赤いネクタイは、これは地区で用意して、各クラブの会長、幹事、地区委員の皆さんに贈ったものです。

RI 会長のメッセージは、深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をも

たらすことができるようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。

平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮いたたせてくれることでしょう。素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができ、入会候補者もロータリーに関心をもってくれるということになります。

クラブの会員数は、ある意味、クラブの健全化を示していると思います。豊川宝飯RCと蒲郡RCは会員が順調に伸びていると報告を頂いており、それが正しくクラブの健全性だと思います。

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

私たち次第というのは、誰かがしてくれるのではありません。貴方次第ということです。一人一人が努力をしてクラブを作って行くということだと思います。自分のクラブに、どう居場所をつくるかは、貴方がどうするかになります。

RIの重点事項は、①ポリオプラスプログラム　②メンタルヘルス　③女児のエンパワメントです。

なぜポリオが必要なのかというと、天然痘に次ぐ、史上2つ目の人類の疾病の根絶を目指しています。もしロータリーがポリオから手を離したら、10年後には約 20 万人の子どもがポリオに感染する恐れがあると言われています。治療法はなく、ワクチンの予防のみが有効な手段です。我々は知らないことに取り組んでいるわけではありません。現実として、日本はワクチンを打っているからポリオの発症はありません。2007年にポリオ根絶がロータリーの最優先事項になっています。是非とも根絶に持っていかないといけないです。

ポリオプラスの「プラス」とは、ポリオ根絶の取り掛かりが、子どもたちの間で伝染する5種類の伝染病にも広がるだろうという意味を込めています。ポリオのみならず色んな伝染病にも効果が出るだろうということでポリオプラスです。

メンタルヘルスは、会員同士が互いに支え合うこと、メンタルヘルスのサービスを提唱すること、治療へのアクセスを拡大するためにこの分野の専門家と橋渡しをすることなどです。コロナにより会員同士の交流がと途絶えたのを再び会員同士が支えあうことが必要だと思います。

女児のエンパワメントは、本来持っている力を発揮できる環境を整え、自らの意思で行動できる社会を推し進める。①家族の健康が改善される。②女児が教育を受けることにより、収入が増し、家族が貧困から脱却できる。③女性が男性と同じ就労率が働くならば、世界総生産の増加が見込まれるということです。

RI会長が言っている「希望」と言うものは、ある先輩に教えてもらった言葉を紹介します。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す。そして、希望は失望に終わることはない」と言う言葉です。希望は黙って耐えていれば湧いてくるものではない。苦難にあっても自ら希望を強く持ち、確信をもって苦難に立ち向かう者こそ苦難を耐え忍ぶことができ、結果として希望が苦難を乗り越える力となるということです。

ビジョン声明からのDEIとして、自身の中での「ロータリー像」について①なぜロータリークラブに入会しましたか？②ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？③ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？④なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？⑤あなたのクラブを代表する活動は何ですか？以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

ビジョン声明として「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」。これは6年前の2017年に発表されました。それよりも10年前の2007年には中核的価値観が発表されています。

ビジョン達成のための行動計画は、Ⅰより大きなインパクトをもたらす　Ⅱ参加者の基盤を広げる　Ⅲ参加者の積極的なかかわりを促す　Ⅳ適応力を高める。このⅠからⅣまでの行動計画は皆さんに問い

かけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。Ⅰは⑤に、Ⅱは①②に、Ⅲは③に、Ⅳは④につながります。Ⅰのインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。Ⅱの基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。Ⅲの積極的なかかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。Ⅳの適応力を高めるには、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）は、2019年にRIはDEIを採択しました。2021年のDEIのコミットメント声明が発表され、行動起案も採択されました。DEIの多様性は、ロータリー創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要です。公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となる。インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる。

地区方針の「培おうプライド、育もうプライド、そして未来へ」について説明します。プライド、ブランドとは、親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

最後にお願いです。①ロータリー財団への寄付。年次寄付150ドル、ポリオ30ドルをお願いします。②地区大会への登録をお願いします。③RFF（ロータリー・フード・フェスティバル）への積極的な参加（チケット・企業協賛）をお願いします。④シンガポールの世界大会でのガバナーナイトへの参加をお願いします。ご清聴ありがとうございました。

★御礼のことば　　小池高弘蒲郡ＲＣ会長

酒井ガバナーロータリーに対する熱い思いをありがとうございました。心に響く言葉がいっぱいありました。

豊川宝飯RCの皆さん、今日の設営ありがとうございました。

ガバナーのお話の中で、親睦、奉仕、一つの輪で親切にする言葉を聞いた時に、ある言葉を思い出しました。蒲郡も観光で外から来る人が多くいます。「貴方の喜びが私の幸せ」という言葉は凄く良い言葉だと思います。若い時には、女性を口説く時の言葉かと思っていましたが、今思うとロータリーにピッタリだと思いました。そのような気持ちで奉仕をやれば、色んなことを成しえるし、楽しくロータリー活動もできると思いました。

蒲郡RCは、今年度70周年でいろんな事業をやります。4月6日記念式典を行います。

それと、2年後に蒲郡RCがガバナーを輩出します。鈴木康仁会員がガバナーをやりますので、宜しくお願いします。当クラブには、鈴木康仁が3人います。あと2人は影武者で活躍すると思います(笑)。私は地区幹事をやります。色んなお願い事をすると思いますので、宜しくお願いします。

ガバナーのお話の中にあった「プライド」そして「ブランド」をしっかりと築き上げていけたらと思っております。本日はありがとうございました。

★会長幹事懇談会

会長幹事懇談会がとても和やかに行われました。

★ニコニコボックス

酒井法丈様　　ガバナー公式訪問
杉浦敏夫様　　〃
磯部晃作様　　〃
太田　稔会長　ガバナーの来訪を歓迎して
池田　弘幹事　　〃
金田柾宏会員　誕生日を祝って頂き

会報担当：乙部享祐・杉浦和人・原田浩史